

10/12～10/14 いつまでも健康であるために  
生涯スポーツフェスティバル開催

去る10月12日(土)、13日(日)、14日(月)の3日間、市立グラウンドと海浜公園内の施設にて、生涯スポーツフェスティバルが開催されました。ラグビー教室や男女別のテニス教室、フィジカルテスト、児童を対象としたかけっこ教室も行われました。また、最終日には、ミニバスケットボール大会も開催され、大いに盛り上がりを見せていました。



10/17 美しさの頂点を決める  
ベスト・オブ・ミス沖縄大会



2019年度ベスト・オブ・ミス沖縄大会において、見事グランプリに輝いた栽愛美さんと準グランプリの渡部祐里奈さんが市役所を訪れ、松川市長へ報告を行いました。今大会はミス・ユニバース・ジャパン等の世界的大会の選考会となっています。渡部さんは「たくさんの方にこの大会を知っていただき、コンテストを通して、沖縄の女性だけでなく沖縄県全体を盛り上げていきたいです」と語りました。

10/19 宜野湾市シルバー人材センター  
道路清掃ボランティア



森の川公園前にて宜野湾市シルバー人材センター(宮原薫理事長)の会員の皆さまが道路清掃を行いました。毎年10月は普及啓発促進月間となっており、全国のシルバー人材センターで主に清掃活動ボランティアを行っています。当日は約70名で清掃をはじめ、1時間30分ほどかけてゴミ拾いと草刈りを行いました。

10/18 一人ひとりが輝けるまちづくりを目指して  
宜野湾市社会福祉大会開催



多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々を顕彰し、本市の地域福祉の更なる充実と発展を目的とし、第38回宜野湾市社会福祉大会(主催：市社会福祉協議会)が開催されました。被表彰者を代表して、市老人クラブ連合会の多和田真隆さんは、「今後も、地域のつながりを大切にして、宜野湾市は福祉の街だと言われるように、頑張っていたきたい」と語りました。

10/19 陽気な音楽と宜野湾自慢のおいしい食事  
トロパ2019開催



今年で6回目となる、「トロパ2019」が宜野湾トロピカルビーチにて開催されました。様々な体験コーナーや市飲食業組合による宜野湾バルのほか、ステージでは県出身のアーティストを中心としたミュージックイベントが行われました。イベントの終盤には、集まった多くの来場者が一体となって祭りを楽しみ、夏を終えるトロピカルビーチに大いに賑わいを魅せました。

10/1 安心して暮らせるまちづくりのために  
「赤い羽根共同募金」出発式



10月1日から全国で一斉にスタートする「赤い羽根共同募金運動」の出発式が市役所玄関前にて行われました。『地域から孤立をなくそう～みんなが社会の一員として支え合うしくみづくり～』をテーマに、地域の多様な課題に取り組むため様々な福祉活動を支援します。ジョニー宜野湾会長は「皆さんが困ったときに、ウリヒャーデージナトーンとならないように地域で支え合える宜野湾市にしたいと思っています」と語りました。

10/8 市民の意見・要望を市政へ  
市議会からの政策提言の手交



去る5月に開催されました「第4回議会報告及び市民との意見交換会」において、市民の皆さまからいただいたご意見をもとに協議・検討した政策提言書を、上地議長、平良副議長ならびに、宜野湾市議会議員の皆さまから手交されました。上地議長は「提言の趣旨・内容を理解頂き、速やかに実施できるよう配慮をお願いします」と語りました。

10/5 今年もメダル獲得!!  
第55回沖縄県身体障害者スポーツ大会に出場!

- 8月 3日(土) アーチェリー競技
- 8月24日(土) 卓球・水泳競技
- 9月14日(土) フライングディスク競技
- 10月 5日(土) 陸上競技

第55回沖縄県身体障害者スポーツ大会が、沖縄県立鏡が丘特別支援学校と沖縄県総合運動公園で開催されました。昨年は台風接近のため陸上競技が中止となりましたが、今年は晴天に恵まれ全競技行われました。宜野湾市福祉地区(佐喜真進団長)から21名の選手がエントリーし、金メダル6個、銀メダル3個、銅メダル2個を獲得しました。

10/7 目指せ九州大会優勝!!  
第40回全九州ミニバスケットボール大会 出場報告



宜野湾小女子ミニバスケットボールの皆さんが、去る7月に開催されました『第42回沖縄県ミニバスケットボール夏季大会』にて準優勝し、令和2年1月に福岡県にて開催されます『第40回全九州ミニバスケットボール大会』への出場報告に訪れました。選手を代表して、6年生の湧川ゆなさんは「九州大会では自分たちのバスケットをして、いい成績を残せるよう頑張ります」と語りました。

10/16 日ごろからのご支援、ありがとうございます  
ベスト育児制度賞 受賞伝達式



沖縄国際大学ボランティアサークル Teen support room 沖種が、育児制度集約サイトを運営する(一社)日本子育て制度機構よりベスト育児制度賞を受賞しました。同賞受賞は県内初。比嘉教授は「大学生には子どもたちとのコミュニケーションを通じて多くのことを学び、良い刺激を与えられるような存在になってほしい」と述べ、サークル部長は「中学生の自尊心向上のために、今後も頑張りたい」と意欲を語りました。

